

第2学年 生活科学学習指導案

児童：旭川市立知新小学校 2年1組 36名
指導者：広瀬史雄
授業協力者：奥山英登
佐藤和加子
日時：平成17年6月15日（水）5校時

1 単元名「つくろう！知新動物園」

2 単元について

(1) 単元設定の理由

本単元は、学習指導要領の内容(7)の下線部を中心に構想したものである。

動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。

学習指導要領の内容(7)

これまでの生活科において、子どもたちは自分を取り巻く多くの身近な「人・もの・こと」に触れてきた。とりわけ本校においての生活科は、2年生の生活科の学習に1年生がゲストとして参加するという「ふれあい」を重視しており、1年生のときには2年生とともに「学校探検」「まち探検」などの学習をしてきている。

旭川市を代表する施設、旭山動物園の動物たちとふれ合い、飼育係さんの話を聞いたことにより、動物たちの生命の尊さに気づき、自分たちも動物を飼育してみたいと願い、主体的で継続した飼育活動を行い、生き物への親しみをもち、より大切にすることができると考える。

また、生き物にとってより良いすみかとはどんなものなのかを考え、試行しながら作っていく活動をすることで、自らの生活をふりかえり、生活を工夫する力が高まってほしいと考え、本単元を設定した。

(2) 児童の実態

本学級の子どもたちは、男女ともに明るく活発な子が多い。生活科の学習には意欲的に取り組み、友だちと協力しながら仲良く学習を進めている。反面、聞く・書くなどの基礎的学習能力が定着していない子も多い。

2年生の生活科「ようこそ！新1年生」では、1年生に校舎内を覚えてもらうために各施設の説明を考え、回るコースを吟味して案内をした。また、一人一鉢のミニトマト栽培を始め、水遣り等の世話も熱心に行っている。生き物との関わりの面では、ミミズや昆虫に触ることのできない子も多い。活発に活動を進める子どもたちだが、友だちの模倣が多く、自分なりの方法・工夫などはまだあまり見られない。今回の学習で、餌遣りや環境づくりはどうしたらよいか、自分なりの考えを持って交流し合っしてほしい。

(3) 単元構成の工夫

	活動構成の工夫	環境構成の工夫
第1次	・旭山動物園の出張授業 (生命尊重の意識を高め、飼育意欲の喚起) ・道徳「どうぶつにやさしく」との関連。	・動物たちとふれ合える十分なスペースを確保したい。
第2次	・調べた方法で生き物を飼育し始める。 ・グループ学習に飼育係さんの協力を依頼 ・飼育環境を整え、1年生を招待する。 ・全校に周知し多様な意見をもらう。	・空き教室を利用し、一つの教室空間を動物園として環境構成する。

第3次	<ul style="list-style-type: none"> 旭山動物園に動物たちを返しに行く。 飼育活動を通して感じたことなどをまとめ、発表会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 案内状を作成，校内放送や朝会等で見学をよびかける。 継続飼育可能な動物は教室での飼育も検討
-----	--	--

3 単元の目標

生き物の不思議を見つけたり，飼って育てたりする中で，それらの育つ場所に関心を持ち，それらは生命をもっていることや成長していることに気付き，生き物への親しみをもち，大切にすることができるようにする。また，飼育活動を通して気づいたことをまとめ，自分なりの方法で発表することができるようにする。

4 評価規準

生活科への関心・意欲・態度

- 進んで生き物とふれ合ったり，育て方を調べようとしている。
- 育てている生き物の成長を楽しみにし，えさやりや環境づくりなどの飼育を通して親しく接しようとしている。
- 飼育してきた動物をこれからどうするか進んで考えようとしている。

活動や体験についての思考・判断

- 食べ物やその与え方を調べたり，生き物の好む環境を作ったりなどして，適切に関わることができる。
- 知新動物園を作るために表示や説明などを考えたり，適切に来園者と関わったりできる。
- 生き物の成長への期待や世話をしていると感じたこと，世話の工夫などを表現することができる。

身近な環境や自分についての気づき

- 小動物たちも生命を持っていること，同じ生き物なんだということに気づくことができる。
- 飼っている生き物の好む環境，身体づくりや動きのおもしろさなどに気づくことができる。
- 旭山動物園は，動物たちにとって住みよい環境づくりをしていることに気づくことができる。

5 単元構成

単元の時間配当（17時間扱い）

第1次 ようこそ！飼育係さん（3時間）

- 動物園の生き物とふれ合おう・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- どんな生き物を育てたいかな？育て方を調べよう・・・・・・・・1時間
- 調べた育て方を出し合い，飼育の準備をしよう・・・・・・・・1時間

第2次 つくろう！知新の動物園（8時間）

- 生き物を育てよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- 生き物の飼い方を考えよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- 知新動物園の計画を立てよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- 知新動物園の準備をしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・3時間
- 1年生を招待する準備をしよう・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- 1年生を招待しよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

第3次 お別れ会をしよう！（6時間）

- 育てている生き物のこれからを考えよう・・・・・・・・・・1時間
- まとめをしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- お別れ会と発表会をしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・4時間

6 活動構成 (15時間)

第1次
ようこそ！
飼育係さん

第1時 道德 第1時
旭山動物園飼育係さん
の出張授業

第2時
育てたい生き物を選ぶ
生き物の育て方を
調べる

第3時
調べた育て方を出し
合い、飼育準備

動物たちはかわ
いいな。

出張授業

生き物にくわ
しい人はいな
いかな？

生き物を飼ってみた
いな。

生き物の専門家
の話を知ろう。

何を飼おう？

生き物の飼育活
動

えさやすみか
はどうしたら
いいだろう。

育て方はこれ
でいいのか
な？

飼育係さん
に聞いてみ
よう。

どんなお世話を
したらいいのか
な？

第2次

つくろう！
知新の動物園

第4時
生き物の飼育

第5時
生き物の飼い方を
考える
(本時 5 / 17)

第6時
動物園作りの計画

第7～9時
動物園の開園準備

第10時
1年生招待準備

第11時
1年生などを招待

他の人たちにも
見てもらいた
いな。

動物園づくり

生き物にとっ
て住みやす
いすみか
はどんな
かな？

どんな動物園を
作ったらいいだ
ろう？

あまり元気が
ないみたい。
どうしたら
いいかな？

動物園を開く

どんなことを
教えたらいい
だろう。

案内状を作っ
てよびかけ
よう。

生き生きとさ
せるための
工夫を見て
もらおう。

第3次

お別れ会を
しよう！

第12時
飼っている生き物の
これからについて

第13時
飼育活動報告会の準備

第14～17時
活動報告会とお別れ会

動物園にもど
そうかな？

生き物との
お別れ会

これから生
き物たちを
どうしたら
いいかな。

生き物の幸
せってなん
だろう？

がんばった
ことを発表
したいな。

学習のまとめ

・生き物を飼って気づいたこ
とをまとめる。
・自分なりの表現で報告す
る。

7 本時の活動

(1) 本時の目標

- ・これまでの飼育法を振り返り、生き物の立場でえさや環境作りを考えることができる。

(2) 本時の展開 (5 / 17)

予想される子どもの活動	教師の支援()と評価()と方法(*)
<p>前時までの学習をふり返し、飼育している生き物ごとに分かれ、本時の学習を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭山動物園の動物と遊びました。 ・飼ってみたい生き物を出し合いました。 ・育て方を調べてカードに書きました。 ・ケージで飼いました。 ・名前を決めました。 <div data-bbox="191 846 927 954" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>おかりした生きものをどうそだてているか、 しゅうがかりさんに聞いてもらおう。</p> </div> <p>グループごとに飼育の様子を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えさは を食べたよ。 ・本で調べたえさはあまり食べないみたい。 ・おしっこやうんちの始末をしたよ。 ・6年生にネギはだめだと聞いたよ。 ・クローバーも食べていたよ。 ・はしごを作って遊ばせたよ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ のえさの方が喜んで食べてくれそうだけど、どうかな？ ・このだっこの仕方で大丈夫かな？ ・奥山さんと佐藤さんに聞いてみよう。 <p>各グループで話し合ったあと、思ったことを交流する。</p> <p>次時の学習予告を聞く。 知新動物園の計画を立てよう。</p>	<p>教師の支援()と評価()と方法(*)</p> <p>* 第2時で、検討する観点を考えた。その観点をもとに話し合う。 (えさ・住環境・工夫など)</p> <div data-bbox="938 797 1401 987" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発表の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何で調べたか ・えさは何を好んで食べるか ・排泄物の始末のこと ・住環境のこと </div> <p>飼育係さんには、各グループの話し合いに入り、今までの飼育活動を聞いてもらったり、アドバイスをしてもらおう。</p> <p>わからないことがあれば、飼育係さんに尋ねることを示唆する。</p> <p>飼いたい生き物の立場でえさや環境作りを考えることができたか。 (思考・表現)</p> <p>飼育係さんにも発言してもらい、各グループの飼育法を褒めてもらう。</p> <div data-bbox="863 1742 1398 1966" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>飼育係さんをお願いしたこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に子どもたちの話し合いの輪に入ってほしい。 ・答えを見つけるのは子ども。見つけるためのヒントを提示してあげてほしい。 </div>

8 活動・支援・評価構想と実際

単元の評価基準

小単元の評価規準

支援

単元名	関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
「つくろう！ 知新動物園」	動物の飼育活動に関心をもち、親しんだり大切にしようとしている。	小動物の世話の仕方を工夫したり、世話をしたことや小動物について表現することができる。	動物は生命をもっていることや成長していること、世話の仕方などに気づいている。
小単元名	関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
1 ようこそ！ 飼育係さん (3時間)	進んで生き物とふれ合ったり、育て方を調べようとしている。	食べ物やその与え方を調べたり、生き物の好む環境を作ったりなどして、適切に関わることができる。	小動物たちも生命を持っていること、同じ生き物なんだということに気づくことができる。
	旭山動物園の飼育係さんと綿密な打ち合わせを行う。 個々の願いと飼育可能な動物を調整しながらグループ作りをする。	調べる方法として、学校図書・上級生・ホームページなどがあることを知らせる。 作成物の材料を準備する。	動物たちの拍動を体感させたり、ホルマリン漬のウサギやモルモットを提示したりして、生命に気付かせる。
2 つくろう！ 知新動物園 (8時間)	育てている生き物の成長を楽しみにし、えさやりや環境づくりなどの飼育を通して親しく接しようとしている。	知新動物園を作るために表示や説明などを考えたり、適切に来園者と関わったりできる。	飼っている生き物の好む環境、身体づくりや動きのおもしろさなどに気づくことができる。
	旭山動物園から小動物を借用し、餌遣りや排泄物処理などのお世話だけでなく、だっこや共に遊ぶなどの活動を通して愛着を持たせる。	旭山動物園を想起させ、動物園らしい表現方法になるよう、ものづくりの工夫を促す。	飼育活動の中で、十分に動物たちとふれ合えるようにする。
3 お別れ会を しよう！ (6時間)	飼育してきた動物をこれからどうするか進んで考えようとしている。	生き物の成長への期待や世話をしていると感じたこと、世話の工夫などを表現することができる。	旭山動物園は、動物たちにとって住みよい環境づくりをしていることに気づくことができる。
	育てている動物や飼育法について、いつでも振り返ることができるような掲示をする。	普段の飼育活動における疑問や気付きなどを蓄積しておく。 子どもの願いに合わせて作成物、使用材料などの準備をする。	公共の乗り物でのマナー指導を行い、行動の仕方に気付かせる。 動物園の各施設を見学し、動物たちの動きに注目させる。

7